

行政視察報告

視察日時	令和 3 年 10 月 15 日 (金) 10 時 00 分～ 11 時 30 分
視察場所	茨城県つくば市 (米沢市議会委員会室でのオンラインによるリモート視察)
視察項目	茨城県つくば市の産業戦略について
視 察 者	産業建設常任委員会委員 8 名 事務局職員 1 名
視察概要	<p>当委員会は新型コロナウイルス感染症の蔓延による感染リスクを回避するため、リモートによる視察を実施し、「つくば市産業戦略」、「市内大学・企業との連携」、「人材の育成と確保」についてお聞きしました。</p> <p>はじめに、つくば市が運営する「スタートアップパーク」について説明を受けました。この施設はスタートアップ関係者が集まり交流する推進拠点として 2019 年度から運営しているもので、コワーキングスペースが設けられ、様々な企業がこのコワーキングスペースを利用しており、その利用率は約 9 割で、ソフトウェア・IT 系、バイオ・ヘルスケア・医療分野の企業による利用が多いとのことでした。</p> <p>また、市民生活の向上や地域経済の活性化に寄与する科学技術に対して実証実験を支援する取組（「未来共創プロジェクト」と「Society5.0 に基づく社会実装トライアル支援事業」）も行っており、「Society5.0 に基づく社会実装トライアル支援事業」においては、令和 3 年度に 6 つの事業が採択され、実証実験に係る費用（上限 100 万円）の支援を受けて市内で実証実験が進められていました。</p> <p>また、市内商店街の空き店舗をオフィスとして活用する事業者へ、賃借料の 1/2（最大月 5 万円）と改装費の 1/2（最大 150 万円）を補助する補助事業にも取り組んでいました。</p> <p>市内大学・企業との連携では、つくば市工業団地企業連絡協議会を通じて、各種セミナーや視察研修の実施、国内外の展示会への出展補助。また、大学と連携して認定商品の開発をするなどといった取り組みを行っていました。</p> <p>人材の育成と確保については、国の交付金を活用して、市内中小企業の魅力向上と若者のマッチングを目的としたセミナー及び面接会の開催、就職だけでなく創業という選択肢も示し、創業による定着を目的とした「若者地域定着加速化事業」の実施。また、市で運営する「つくば市ふるさとハローワーク」による相談や職業紹介により、若者の定着に力を入れているようでした。</p>
本市に生かせる視点	産業振興課、科学技術振興課、スタートアップ推進室がそれぞれに施策の実現に向けた専門分野で組織されており、筑波大学との連携を通じハード面よりもソフト面での後押しが多く見受けられました。国の政策や人材

をつなぐキーマンの必要性を痛感させられたと同時に、技術や商品、サービスをプロデュースできる人材の育成や登用が必要と考えます。

統括する政策イノベーション部の部長からご挨拶をいただいた際に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により産業構造が大きく変容しつつあること等の指摘もありました。本市としてもSDGs未来都市に選定されたことを踏まえ、工業分野のみならず産業全体で取り組むべき17の目標と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて、中長期的な課題の抽出に努め、整理した上で施策に反映させていく必要があると考えます。